





# 薬物乱用はダメ、ゼツタイ!



～町内の文化祭で少年補導委員が薬物乱用防止の啓発物を展示～

日野町少年補導委員会では、各公民館やわたむきホール虹での文化祭で少年補導委員会が作成した啓発物の展示をしていただきました。例年「氏郷まつり“楽市楽座”」で行っていた薬物乱用防止のための啓発活動等が、今年は新型コロナウイルス感染症のために実施できなかった代わりとして実施しました。また、図書館では薬物や青少年問題についての図書コーナーが設けられました。

## 公民館 わたむきホール虹 図書館 展示



公民館での展示

### 『依存』が起きる薬物乱用 やめられなくなります

◎乱用される薬物の共通の特徴は、何度でも繰り返し使いたくなる「依存」を引き起こす事です。

◎いったん依存になってしまうと「快感を得るため」だけでなく、薬が切れた時に感じるイライラや不安、身体的苦痛から逃れるために薬物を使わざるを得なくなります。



◎こうして、薬物なしではいられない「薬物依存」の悪循環にはまってしまうのです。

ネットでも手に入ってしまうので要注意!



誘われた時は  
ハッキリ・キッパリ  
断ろう!



図書館コーナー

## 朝のあいさつ運動

日野町少年補導委員会では、11月より、各小学校での「朝のあいさつ運動」を始めました。

大人が地域の子どもを知り、また子どもたちにも地域の人を知ってもらい、そしてあいさつのしっかりできる子どもたちに育ててほしいという願いからこの運動が始まりました。

一日を元気よくスタートしてもらいたいと思ひ言葉は「おはようから始まる楽しい学校」。少年補導委員が子どもたちに明るく呼びかけると、早速子ども達から元気な声が返ってきました。



## 麻薬・覚醒剤乱用防止運動実施中

10月1日から11月30日まで



### つぶやき

新型コロナウイルス感染者が全国で多数確認され学校が休校になっていたときの松尾公園での出来事です。多くの子どもたちが密を避けて公園で遊んでいる中で、公園内の駐車場では、高校生と思われる子どもたちがスケボーを楽しみながら技を懸命に練習していました。

何日かたって、公園の駐車場をしてみるとスケボーを楽しんでいた子どもたちがいなくなっていました。私が考えるところ、おそらく誰かから「この場所は駐車場なので危険だからやめなさい」と注意を受けたのではないかと、思われます。

私たち大人は、「正論」という力をかざして心理的に子どもを追いつめ、この場所からいなくなればいいと思いがちですが、追い出された子どもたちは家の前や道路などもっと危険な場所で練習を行うのではないかと思います。スケボーもスポーツです。私たち大人は、子ども達の居場所を見つけてあげることでも大事なことでないでしょうか。たとえば場所の提供とか…。

日野町少年補導委員会 小森 慶一

## ひとりで悩まないでまずは相談を!

少年センターでは、少年に関する悩みや心配ごとの相談を行っています。本人だけでなく、家族の方の相談も受けています。お気軽にお越しください。秘密は厳守します。

○電話相談 ○面接相談

○相談時間：月～金 9:00～16:30

日野町少年センター (日野町勤労福祉会館 2階)

電話 0748-53-1325

E-mail [hino.t-syonen.c@rmc.ne.jp](mailto:hino.t-syonen.c@rmc.ne.jp)